

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公開番号】特開 2000-100065 (P2000-100065A)

【公開日】平成 12 年 4 月 7 日 (2000.4.7)

【出願番号】特願 平 11-204891

【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/10 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/06 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/92 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/937 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/10 A

G 0 6 F 3/06 3 0 1 S

H 0 4 N 5/92 H

H 0 4 N 5/93 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 7 日 (2006.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 入力されるデータストリームを記録媒体に書き込み、該記録媒体に記録されている上記データストリームを読み出して出力するデータ出力装置であって、

上記データストリームは、圧縮された映像情報を含み、

上記データ出力装置は、

入力された上記データストリームを上記記録媒体に書き込む書き込み手段と、

上記記録媒体に記録されている上記データストリームを読み出す読み出し手段と、

上記書き込み手段と上記読み出し手段とを制御する制御手段とを備え、

上記書き込み手段と上記読み出し手段とは上記記録媒体に対し上記データストリームの書き込みと読み出しを排他的に行い、

上記制御手段は、上記読み出し手段より上記書き込み手段の書き込み処理を優先的に行うよう制御する、

ことを特徴とするデータ出力装置。

【請求項 2】 上記制御手段は、さらに、上記記録媒体に対する上記データストリームの書き込みと読み出しの交代する回数を書き込みが優先されるよう抑制するように上記書き込み手段と上記読み出し手段とを制御する請求項 1 に記載のデータ出力装置。

【請求項 3】 前記制御手段は、実行中の前記記憶装置からの読み出しに対して実行を一時停止するように指示して、書き込み処理を優先させること、を特徴とする請求項 1 に記載のデータ出力装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、入力されたデータストリームを記録媒体に書き込む前段に設けられたバッファに保持される単位時間当たりのデータ量に基づいて蓄積レートを算出し、算出された蓄積レートに基づいて前記バッファへの蓄積時間の予測を行い、

予測結果に基づいて、上記読み出し手段より上記書き込み手段の書き込み処理を優先的に行うよう制御すること、を特徴とする請求項 3 に記載のデータ出力装置。

## 【請求項 5】

上記予測は、前記単位時間当たりのデータ量の履歴を用い、更に、前記バッファに蓄積された上記データストリームが消費される時間を予測するものであること  
を特徴とする請求項 4 に記載のデータ出力装置。

## 【請求項 6】

前記データストリームは、可変ビットレートで圧縮された映像信号であり、  
前記蓄積レートは、前記映像信号の変化するビットレートに基づいて算出されること、  
を特徴とする請求項 1 に記載のデータ出力装置。

## 【請求項 7】

前記データストリームに含まれる再生のために利用されるタイムコードの値を取得する  
、請求項 6 に記載のデータ出力装置。